

朝晩の気温差も少しずつ広がる季節になりました。例年以上の暑さに参ってしまう夏でした。さて、みなさんは「大根おろしで暑気払い」をしたことはありますか？私は数年前に初めて耳にしましたが年配の方に聞いてみると、みなさんご存知の民間療法でした。

背中に乗せると痛いそうで、試してみるには勇気がいりそうです。これからの季節暑さも少しずつ収まっていきます。大根おろしも背中ではなくサンマにのせて頂きたいですね



■赤い羽根共同募金のお願い

10月も迫り「赤い羽根共同募金」をお願いする時期となりました。

共同募金は必要な使い道と必要な金額（目標）を事前に決めてから寄付を募る「計画募金」で、70年以上の歴史がある民間の募金運動です。

皆さまの温かな善意と多くのボランティアのご協力に支えられて地域福祉活動や災害被災者支援活動に活用しています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金

■日本赤十字社費にご協力ください

日本赤十字社は、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも人間のいのちと健康、尊厳を守るため、国の内外において様々な事業活動を行っております。災害救護活動、赤十字奉仕団、街頭での献血呼びかけなど諸活動を実施していくための事業資金は、皆様からお寄せいただいた「社費」によって支えられております。今年も各地区協力員様におとりまとめを依頼しております。町民の皆様には、赤十字の理念と活動にご理解いただき、ご協力のほどお願いいたします。



■社会福祉協議会会費にご協力ください

只見町社会福祉協議会（社協）は、皆様からいただいた会費を貴重な財源として地域福祉活動を推進しています。「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して様々な活動を展開しています。会費につきましては高齢化等に伴う負担感の実情等も含め、令和2年度から世帯単位の会費を一律500円にいたしました。

活動の趣旨をご理解いただき、会費納入について温かいご支援をいただきますようお願いいたします。



■ご長寿おめでとうございます

（百歳賀寿）

7月19日（金）只見ホームにおいて、菅家アサエさんが百歳を迎えられ、福島県知事からお祝いを受けられました。誠におめでとうございます。





無料映画上映会



令和元年度
文化庁映画賞
文化記録映画大賞

びあ映画
初日満足度1位
(11月3日びあ調べ)

第92回
キネマ旬報ベスト・テン
文化映画3位

第43回
日本カトリック
映画賞

2018年度
全国映連賞
特別賞

第36回
日本映画
復興奨励賞

文部科学省
特別選定映画

厚生労働省
推薦映画

ぼけますから、



ドキュメンタリー映画

よろしくお願ひします。



令和6年9月14日(土)

場所：只見公民館

9:30 ~ 受付

10:00~11:00 (短縮版)

11:00~12:00

(訪問介護と

ライフプランノート)

12:30 ~ 受付

13:00~15:00 (完全版)

監督・撮影・語り

ひとり娘

信友直子

プロデューサー：大島新 濱淵 共同プロデューサー：前田亜紀 堀 治樹 山口浩史
編集：目見田 健 実景撮影：南 幸男 音響効果：金田智子 ライン編集：池田 聡 整音：富永憲一
配給宣伝協力：ボレボレ東中野 ウッキー・プロダクション 製作・配給：ネツゲン フジテレビ 関西テレビ

2018年/日本/カラー/102分/©「ぼけますから、よろしくお願ひします。」製作・配給委員会

www.bokemasu.com

■映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」を無料上映します！

令和6年9月14日(土)に只見公民館で午前の部と午後の部の2回無料上映を予定しています。午前の部は、短縮版の上映(48分)と、訪問介護の話&ライフプランノートの話(30~40分)を行います。午後の部は完全版の上映(102分)を行います。

この映画は「認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私、泣きながら撮った1,200日の記録」をまとめたドキュメンタリーで、あたたかく魅力的な家族が生きて老いて支え合うことの幸福と哀切さが伝わってくる映画です。国内の映画賞を多数受賞しています。

「介護とは親が命懸けでしてくれる最後の子育て」という名言がありますが、あらためて向き合うことの大切さを感じます。

■ご寄附お礼

・社会福祉事業(介護事業)のためにご寄附を頂きました。

小林 角田 睦 様 (故 房子 様のご遺志として)

梁 取 山内 泰生 様 (故 泰介 様のご遺志として)

誠にありがとうございました。大切に使用させていただきます

